

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2395300011
事業所名	グループホームほほえみ扶桑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し回覧板を通して地域情報を得たり、管理者が会合に出席し地域情報の交換やホームの様子を伝えるように努めている。地域との関係を大切に考え、地域で開催される桜祭りや納涼祭などに参加したり、保育園の運動会に招かれている。また、中学生や踊りなどのボランティアも継続的に受け入れをしている。日常的には買い物や散歩で近所の人と顔なじみとなり、挨拶を交わすなどして交流を深めている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族、協力医、民生委員やそのOB、役場職員、包括支援センター職員などの参加者を得て年6回開催されている。活動報告や予定、意見や質問等通常の運営推進会議の内容と併せて、「聞こえの仕組み、口腔ケア、AED体験」などテーマに沿った講師を招き勉強会が行われ、参加者から好評を得ている。質疑応答等活発に行われ、意見や要望は職員間で検討し、サービスに反映されている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 更新時の申請手続きに役場の窓口を訪れ、空き情報等の情報交換、困難事例などの相談を行っている。日常的には、役場、包括、社協等と相談や報告、情報交換などをして協力体制を作り良好な連携が確保されている。運営推進会議には役場の職員の参加もあり、役場が主催する研修会へ参加をしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からの意見や要望は、日々の会話やケアの中で把握している。家族からは、意見箱を常設したり、訪問時や運営推進会議、夏祭りやクリスマス会など年2回の家族会で聞くように努めている。入居者の担当職員から手書きのお便りを毎月送ったり、電話で意見や要望を聞く様にして、家族から安心感を得ている。意見や要望は職員で検討し運営に反映させるようにしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりで開催されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎